

尊厳死宣言書

第一条

私 は、私が将来病気に罹り、それが不治であり、かつ、死期が迫っている場合に備えて、私の家族及び私の医療に携わっている方々に以下の要望を宣言します。

- (1) 私の傷病が、現代の医学では不治の状態であり、既に死が迫っていると担当医を含む、2名以上の医師により診断された場合には、死期を引き延ばすためだけの延命措置は一切、行わないでください。
- (2) しかし、私の苦痛を和らげるためには、麻薬などの適切な使用により十分な緩和医療を行ってください。その結果、副作用で死ぬ時期が早まったとしてもかまいません。

第二条

この宣言書の作成に当っては、あらかじめ私の家族である次の者の了解を得ております。

年 月 日生

年 月 日生

年 月 日生

私に前条記載の症状が発生したときは、医師も家族も私の医師にしたがい、私が人間として尊厳を保った安らかな死を迎えることができるようご配慮ください。

第三条

私のこの宣言による要望を忠実に果たして下さる方々に深く感謝申し上げます。

そして、その方々が私の要望に従ってくださった行為の一切の責任は私自身にあります。

警察、検察の関係者におかれましては、私の家族や医師が私の意思に沿った行動を執ったことにより、これらの方々に対する犯罪捜査や訴追の対象とすることのないようお願いいたします。

第四条

この宣言は、私の精神が健全な状態にある時にしたものであります。

従って、私の精神が健全な状態にある時に私自身が撤回しない限り、その効力を持続するものであることを明らかにしておきます。

平成 年 月 日

氏名

印

住所